

船井情報科学振興財団 第 1 回報告書

留学先決定に至るまでの経緯

林 佑明

June 2017

2017 年 9 月からカーネギーメロン大学にて博士課程に進学予定の林と申します。現在は同じくカーネギーメロン大学で修士課程の学生として、機械学習を用いて自然言語処理の研究を行なっています。米国在学の修士課程の学生として、博士課程への準備をまとめます。

1 動機

2 年前、カーネギーメロン大学の修士課程に入学後、待っていたのは自信を碎かれる毎日でした。優秀な学生が世界中から集まるのが当然とは思っていましたが、既に沢山の実績を持っている学生や企業で何年もエンジニアをしていた学生など、コンピュータサイエンスに“最適”なスキルを持った人たちが楽しそうに研究のことを語らう環境は、とても新鮮で過酷でした。入学時にその後の進路のことももちろん考えるわけで、自分はこんな同級生たちと競争しないといけないのか、この世界に生き残れるのか、そもそもアメリカに残りたいのか、日本に帰れば楽だな、などと悶々と過ごしていました。

そんな中、修士で卒業してエンジニアリングの仕事につくよりも博士課程に行きたいと考えるようになったのは、このような環境に身をおいて 1 年経ってからでした。この時、本業の研究として指導教官から与えられたプロジェクト、それとは別で友人と考えた研究プロジェクトがあり、制約や締め切りのない後者について友人と夜な夜な大学で議論するうちに、自分の中で初めて「ひとつのことを追究して誰も成功していないことを成し遂げたい」という気持ちが生まれてきたのを覚えています。

2 出願準備

さて、博士課程をいざ目指したいと考えました。ところが自分の所属していた研究所で修士課程から博士課程に上がるためには、外部からの受験生と同じプロセスで選考を受けなくてなりません。この時点で自分の実績は皆無、「実力あるから自分を入れてくれ」と証明するものもありません。さすがにやる気だけで選考委員の教授たちは採ってくれないし、なんとかして入るには何をすればいいか考え込んでしまいました。そこで相談にのって頂き大変お世話になったのは 2014 年度奨学生の川上さんです。出願に必要な書類を揃えるにあたり、どのように行動すれば選考で有利になるかのアドバイスをたくさん頂きました。この場を借りて感謝致します。そうして、以下のような準備が整いました¹

2.1 奨学金

合格の確率を大きくあげ、それに加え入学後の自由度も大きくできるのが奨学金です。自分は船井財団のみに応募しました。応募にあたり書いた研究計画は、のちに SOP を

¹9 月中旬から応募可能になり、12 月中旬に締め切るところが多いと思いますが、締め切りギリギリまで(一度提出した)応募フォームを編集できる大学が多いので、なるべく早く書類第一弾をそろえてしましましょう。

考える上でもいい下地になりました。ひと通り書いてから指導教官や先輩に添削してもらい、無事書類選考を通過させていただいた後は、スカイプで面接をしていただき、遠隔地で休日にも関わらず対応していただいたのには大変助かりました。

2.2 Statement of Purpose

私の大学には英語の無料添削サービスがあり、ネイティブスピーカーが草稿を読んで添削してくれます。ここでもらったアドバイスは、いわゆる“王道”の SOP のスタイル²でした。日本でも論文の英語添削サービスがあると聞きますし、初歩的な文法ミスや typo をチェックしてから、そうしたサービスを利用してネイティブスピーカーに校閲してもらうのは大事だと思います。

ところが、添削者は自分の分野に精通していない場合がほとんどだと思います。そのため、私の場合は(分野外向けの)あまりに単純な言い回しに直されてしまうことがよくありました。これに関して、実際の選考で SOP を読むのは誰なのかを調べ³、ターゲットを念頭に内容の粒度を考える必要があります。私は英語の添削後、もう一度川上さんに添削していただきました。同分野の人に読んでもらってフィードバックを頂くと、PhD で探求したいテーマを洗練する事もできるのでおすすめです。

2.3 推薦状

自分の指導教官は二人だったので、両教授から頂くことを確かめた上で、あと一通はプロジェクトを指導していただいた教授にお願いしました。もしどなたかが厳しい場合も学部の指導教官にお願いをしていたので安心でした。アメリカの教授に頼む場合は特に、夏頃に「書いてくれ」とお願いしてから実際にもらえるまで定期的にプッシュし続ける、ということをしたほうがいいかもしれません。私はこれに関しても川上さんのアドバイス通り行いました。

何故早めにお問い合わせするほうがいいのでしょうか。教授はよく、推薦状を書かなければいけない学生一覧にランクを付けて、実際に「この人は今年私が推薦する(またはこれまでに私がみてきた)学生の中で何番目にできる」と記すことがあります。したがって早くにお願いして早く書いてもらえれば、このランキング内に他の優秀な学生が入ってくる前に自分に高順位を付けてもらえる可能性があるという仕組みです。いずれにせよ、早めにプロセスを進めて損はしないと思います。

3 結果・終わりに

以上のように、沢山の方に背中を押してもらった結果、CMU に無事合格することができました。他に受けた大学は落ちてしまいましたが、それは受けるにあたって自分の実績が足りなかったのが原因だと思います。

それでも助けて頂き、親身になって添削やアドバイスをしてくれた先輩方に本当に感謝したいと思います。また、結果をつかむことに大きな要素となった船井財団の奨学金のサポートにも心から感謝を申し上げます。頂いた機会とチャンスを利用し尽くして、社会にインパクトのある研究ができるよう、気を一層引き締めて邁進致します。

²<http://www.cmu.edu/gcc/HandoutsandResources> 下, Applying for Graduate School の項目を参照。一般的なストラテジーが書いてあります。

³例えば、受ける大学が学部単位の入試か、学科単位の入試かによって、SOP を読む教授が分野に詳しいかを多少予想できるかもしれませんが。確実なのはもうそこにいる学生・先生方でしょう。是非過去の奨学生の先輩方にメールしてドンドン聞いてみましょう。

Tips

合格通知待ちの状態で見るとは精神衛生上良くないですが、[Grad Cafe](#) というウェブサイトでは自分の専攻 (“Computer Science” など) を打ち込んで検索すると、世界中の受験者がいつ面接・通知をどの大学から受けたかの投稿を見ることが出来ます。自分の受けた大学を調べれば大まかな通知の時期もわかるので、一度チェックしてみても良いと思います。